

令和4年度奈良県公立高等学校入学者特色選抜学力検査問題 出題概要【国語】

1 出題の特徴

俳人である高柳克弘が、数々の名句の魅力を掘り下げつつ俳句の本質について述べた説明的文章を素材とした。古典については、親しみやすく、かつ自ら考えることができるような古典を素材とする観点から、平易な文体で書かれた、清少納言による随筆『枕草子』を素材とした。

これらの素材を基に、国語の基礎的な事項が身に付いているかをみるとともに、内容の正確な理解ができるかをみた。

さらに、言葉による見方・考え方を働かせ、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことをうたった学習指導要領「国語」の趣旨を踏まえ、情報の整理の仕方や、助言などを踏まえて文章のよい点や改善点を見いだすこと、また、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができるかをみた。

2 各問題の概要

問題□ 俳句の本質について述べられた説明的文章を素材として、漢字の読み書きの力や、語句の意味、内容の理解、論理の展開、楷書による書写などの基礎的・基本的な事項が身に付いているかをみた。(九)では、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができるかをみた。

問題□ 報告書作成を題材に、情報を分類し整理する力や、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができるかをみた。

問題□ 平安時代の随筆を素材として、古典を読むための基礎的な力が身に付いているか、また、古典に親しむ態度が定着しているかをみた。(四)では、文章に表された筆者のものの見方や考え方をとらえることができるかをみた。

【出典】 高柳克弘『究極の俳句』

2021年5月10日発行、中央公論新社